

～脱炭素社会に向けて CO₂ 排出実質ゼロ

カーボンニュートラルメニューを提供開始～

株式会社福岡エネルギーサービスは 2026 年 4 月より「カーボンニュートラルメニュー」の販売を開始しました。本メニューは J-クレジット、グリーン熱証書、非化石証書などの環境価値を利用して、CO₂ 排出量をオフセットした熱エネルギーを供給するものです。お客さまは本メニューを活用することで、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、温対法）における「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」（以下、SHK 制度）ならびにエネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（以下、省エネ法）での国への CO₂ 排出量報告にご活用いただけます。

この度、4 月より株式会社岩田屋三越様（供給施設：福岡三越）、6 月より福岡市交通局様（供給施設：地下鉄天神駅、地下鉄天神南駅、地下鉄中洲川端駅）に本メニューをご採用いただきました。商業施設と公共交通という都市活動を支える重要なプレイヤーにご採用いただいたことは、地域における脱炭素化の実装が前進する大きな一歩です。福岡市が掲げる「2040 年度 温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現に向け、今後も関係者の皆さまと連携し、取り組みを推進してまいります。



本メニューにより 2026 年度は 1,647t-CO₂のオフセットを見込んでいます。これは森林換算^{※1}だとスギ人工林約 187ha 分(東京の代々木公園(54.5ha)の約 3.4 個分)の CO₂吸収量、気体 CO₂体積換算だと約 84 万~92 万 m³^{※2}(みずほ PayPay ドーム福岡屋根下空間(約 176 万 m³)の約半分)に相当します。

※1 森林換算は林野庁の代表例(スギ人工林の吸収量 8.8t-CO₂/ha・年)に基づく目安で、樹種・林齢・管理状況等により変動

※2 気体 CO₂への体積換算は温度・圧力条件で変動するため、条件(0~25℃・1 気圧)を明記して目安として使用

【お客様の声】

株式会社岩田屋三越
総務・人事部 満田勝繁 様

岩田屋三越では、サステナビリティの重点取り組みの一環として、温室効果ガス(GHG)排出量の削減を推進しております。この度、CN(カーボンニュートラル)メニューの供給開始により、福岡三越館内の冷暖房に使用する冷温水供給に伴う温室効果ガス排出を、実質ゼロとすることを実現いたしました。これは、店舗運営における環境負荷の低減を図るとともに、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取り組みの一つです。岩田屋三越は、今後も持続可能な環境・社会をつなぐ企業として、その実現に貢献してまいります。

【問い合わせ先】

株式会社福岡エネルギーサービス
事業推進部 営業推進グループ 牧野
TEL : 092-406-6824
eMail : t.makino@fukuoka-es.jp